



夢への飛躍

金沢桜丘高校いしかわニュースーパーハイスクールだより



令和6年度 第4号

編集：NSH推進課

発行責任者：梅本 浩照

人文科学コース 県外研修（首都圏）

8月22日（木）～23日（金）の2日間、2年人文・自然科学コースの生徒が県外研修に参加しました。本研修は、日本を支える企業や施設・研究機関を訪問し、実践的な知識や技術に触れることで、21世紀の社会を支えるグローバル人材としての資質・能力の向上を図ることを目的としています。

1日目：東京国立博物館、班別活動

班別活動



トーハク（東京国立博物館）は、日本で最も長い歴史を持つ博物館で、12万件を超える、日本と東洋の美術と考古のさまざまな作品を保管しています。

生徒の感想

- 実際に見たり体験したりすることで、知識が深まり、より興味が湧いた。展示物の迫力と緻密さから、当時の技術力の高さを感じ、すごいと心から思った。
- 展示物のどれもが現代の品々と比較しても劣らないような技術が施されており、興味深かった。

午後からは、課題研究のフィールドワークを行いました。観光地浅草や渋谷で外国人に取材したり、自らアポイントをとって会社訪問をする一方で、事前の計画を立てておくべきだったと反省したり。いずれにしても貴重な体験となったようでした。



生徒の感想

- グリーンカーボンという会社を訪問した。会社のHPやインターネット情報だけでは分からなかったことについて知ることができ、とても勉強になりました。
- チームラボとヴィーガン対応の飲食店へ行った。プロジェクションマッピングを通して幻想的な風景を見ることができ、飲食店では、どれも高額商品でとても驚いた。今後、課題探究するうえでのヒントを得ました。

2日目：野村総合研究所、JICA 地球広場

野村総合研究所

通勤ラッシュにまきこまれることなく、日本の中枢大手町フィナンシャルシティに到着。グランキューブ22階で、野村総合研究所「DX 戦略体験プログラム」を受講。「コンビニの利益を伸ばす」を題材に、ゲームを通して班別で競い合いました。課題解決のプロセスもこのプログラムを通して学ぶことができました。また、SE（システムエンジニア）の仕事内容も深く理解することができ、将来の学部選択・職業選択の視野が広がりました。

生徒の感想

- SEの仕事を知ったことで、将来どんなふうに関わるのかが分かった。取引先の会社の利益を上げるために、現状を明確に把握し適切な解決策を考える。そのためには発想力はもちろんのこと、多角的な視点から物事を捉えることが重要性だと思った。
- 大企業を見学したことがなかったので、スケールの大きさに圧倒された。コンサルティングの仕事は、以前その仕事をしている人から聞いたことがあったけど、ゲーム形式だが体験することで、仕事の本質のようなものを理解できた気がする。

東京駅で集合写真を撮り、班ごとにJICA 地球広場へ向かいました。大使館お墨付きのランチもあり、おいしくいただきました。展示会場の説明を受けた後は、体験コーナーで楽しみ、後半は、青年海外協力隊としてバングラデシュで活動をされた方のお話を聞きました。

生徒の感想

- 青年海外協力隊に興味があったので、とても興味深く映像をみたり、話を聞きました。目指したいこととの関連が多く、自分のビジョンがよりはっきりしました。
- 海外の国は治安や衛生管理が悪いとばかり思っていたのですが、文化やその土地の人たちのお話を聞いて、がらりと印象が変わるのだと気づきました。これがきっかけで、海外の文化に少し興味が湧きました。



JICA 地球広場

